

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

大川の滝はいやされる

神山小学校 六年 岩川 拓斗

ザザザザザザ。きりのシヤウがとて
もきもちいい。七月二日ぼくたち、島周
りといつて、屋久島を歩いて一周するこ
とになつた。今日は、神山小から大川の
滝の二十三キロ位を歩いていく。朝六時
にみんな神山小に集まり、島周りをス
タートした。いよいよだ、歩いていて
すこしたつと、小さい二年生は少し見
えなくなつてきた。ペースはとも速く
心通だと、四十分かかる道のりを、なん
と二十分ですべてした。そして第一休け
い、所、ハ幡小にいた。アイスにすると、
いつもより格段においしかった。そし
てまたスタート、いきがあらくなり、足
がパンパンになつてきた。栗生の町を
すぎると西部林道にみだいな道になつた。
すこし歩いていくと猿に出合つた。カ
ワイイと思つていると目が合つてしま
つた。うるさい猿が追いかけてきた。

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

「キャーッ」

ぼくたちははいっせいに逃げた。どうにかにげ
 きたが走ったおかげで足がパンパンもう、
 辞めた位だった。でももうあと少し、かん
 ぼるぞ。

「イエーイー」

みんなで両手を上げてゴールした。大川の滝
 についだ。川の手前までいった。滝のしぶき
 がまりのシャワーみたいな感じでぼくの位に
 あたる。そのマイナスイオンで、つかれは
 ーっしゅんで飛んでいった。大川の滝は、ほ
 く力があつて、とても力強さを感じる。でも
 その中に滝のしぶきなど優しさもあるよな
 感じがする。ぼくはその大川の滝がとつても
 大好き。ーっしゅんでつかれがぶつとぶつと
 不思議な音。ぼくはいつも、この滝をみると
 いやされて、落ちつける。ぼくが屋久島で一
 番目に好きといつてもかごんではいい。

屋久島に来た時は絶対一度はこの大川の滝
 に来てみてくたさい。つかれもーっしゅんで

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



No. _____

う
っ
と
び
ま
る
た。

- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

